

高耐候高弾性超低汚染2液形水性フッ素樹脂塗料

# アレスアクアセラフッソ

JIS A 6909 建築用仕上塗材 防水形複層塗材 E 上塗材  
可とう形改修塗材 E 上塗材

ALES AQUA CERA FUSSO

超低汚染

高弾性  
塗膜

高耐候性

防カビ  
防藻性

水性

2液

ツヤ調整



高耐候高弾性超低汚染2液形水性フッ素樹脂塗料

# アレスアクアセラフッソ

長期の美観を保つ「高耐候高弾性超低汚染2液形水性塗料」に  
超高耐候性フッ素樹脂塗料が登場！

ALES AQUA CERA FUSSO

## 1 水性塗料での超低汚染機能 (特許出願中)

### 低汚染性機能のポイントは？

セラミック成分の複合により塗膜を親水化させることです。

一般フッ素樹脂系塗料の塗膜表面

水接触角が大きく、水とのなじみが悪い



アレスアクアセラフッソの塗膜表面

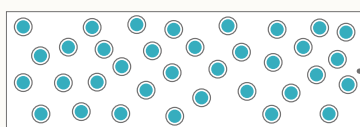
水接触角が小さく、水とのなじみが良い(親水塗膜)



### 関西ペイントは マイクロカプセル技術での 水性親水化に成功

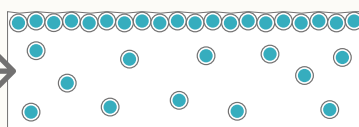
セラミック成分は水と反応するため、水性塗料の場合、塗料状態で反応がすすみ、親水化が難しかったのですが、当社は「アレスアクアセラシリコン」で実用化に成功しました。

アレスアクアセラフッソ  
(ベース・硬化剤混合時) 塗料中のイメージ



● マイクロカプセル  
● セラミック成分

アレスアクアセラフッソ  
乾燥塗膜のイメージ

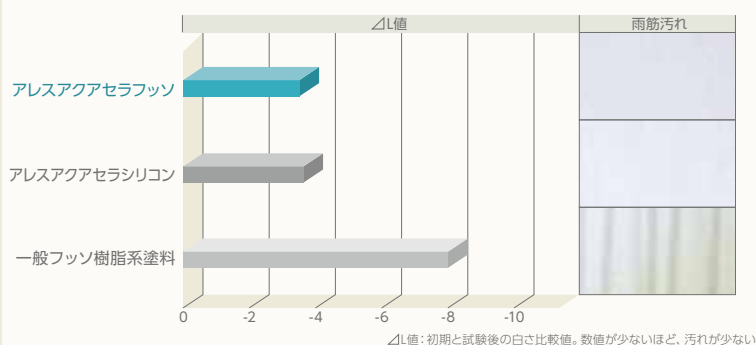


セラミック成分が、塗料中に細かく分散し、かつ塗膜表面に配向した後、効率良く水と反応するためパワコ後、短時間で塗膜表面に親水化が発現する。

### アレスアクアセラフッソは

アレスアクアセラシリコンでの技術を活かし、超高耐候水性フッ素樹脂塗料での超低汚染化に成功しました。

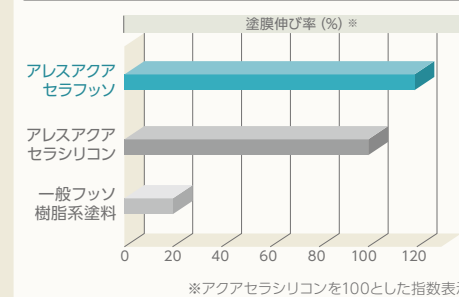
白塗料における屋外パワコ6カ月のΔL値と塗膜状態



## 2 優れた弾性塗膜適性

建築物に生じるクラックに追従して、高い防水性を発揮するには、主材のみならず、上塗にも柔軟性が求められます。アレスアクアセラフッソは、建築用塗膜防水材(外壁用)の上塗としても適用可能です。

高温×長期間(50℃1ヵ月)乾燥後の塗膜伸び率



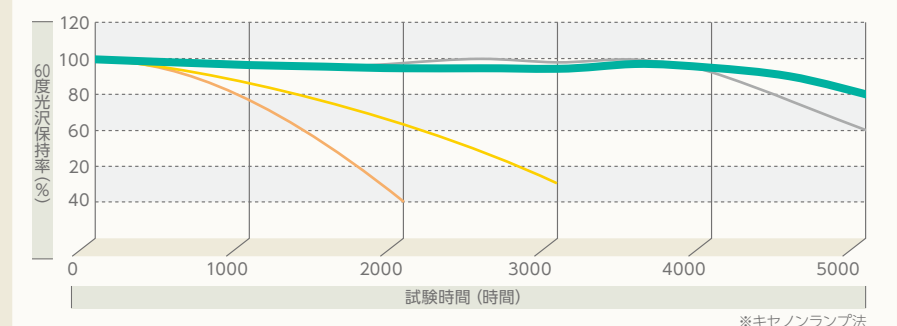
アレスゴムウォール(建築用塗膜防水材(外壁用))適性

試験項目	アレスアクアセラフッソ	従来水性	備考
温冷繰り返し試験	良好	上塗ワレ	JIS A 6909 7.10 23℃上水浸漬18時間～-20℃×3時間気中冷却～50℃×3時間気中加温を1サイクルとし10サイクル
促進耐候試験	良好	上塗ワレ	キセノンランプ法2,500時間
屋外パワコ試験	良好	上塗ワレ	沖永良部パワコ12ヶ月

## 3 アクリルシリコンを超える抜群の耐候性

〈JIS A 6909 耐候形1種合格レベル〉

— アレスアクアセラフッソ  
— アレスアクアセラシリコン  
— 溶剤型ウレタン  
— 溶剤型アクリル  
(色合い：白)



## ■品名・荷姿

- アレス弾性ホルダー防水形 : 16kg
- アレスアクアセラフッソ中塗 : 15kg
- アレスアクアセラフッソ上塗 : 15kgセット (ベース/硬化剤=14/1)

※上記の他にも組み合わせ可能です。詳細は最寄の営業所へお問い合わせください。

## ■標準塗装仕様

(JIS A 6909 可とう形改修塗材 E 適合仕様)

工程	塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1	素地調整					
2	下地調整材	1	0.8~1.5	8時間以上7日以内	多孔質ローラー	1~4
3	中塗り	1	0.14~0.16	2時間以上7日以内	ウールローラー	3~8
4	上塗り	1	0.12~0.14	—————	ウールローラー	5~10

※中塗り工程のかわりに上塗り2回塗りでも仕上げる事ができます。その場合は4時間以上の塗装間隔をあけてください。

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※塗料性状に関する詳細は、一品一葉製品説明書をご参照ください。

注1) 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸い込みが大きい場合、または新設時にはシーラーを塗装してください。

## ■施工上の注意事項

- ①ベースと硬化剤を指定の比率で混合し、電動ミキサーで均一に攪拌してから使用してください。ベースと硬化剤の混合比率が不適切であったり、指定以外の塗料を混合したり、攪拌が不十分であった場合、本来の低汚染機能が得られませんのでこれを遵守してください。
- ②過希釈の場合、ハジキ・光沢低下などを生じる場合がありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度定めた希釈率はなるべく同一にしてください。
- ③塗装後1~2日は、塗膜表面に若干の粘性が残りますので、粉じんなどの付着にご注意ください。尚、塗り重ね性、塗膜性能に支障はありません。
- ④気温5℃以下、湿度85%以上、降雨、降雪、強風が予想される場合は、あらかじめ塗装を避けてください。
- ⑤低汚染機能は乾燥塗膜により発現しますので、塗膜乾燥過程で降雨にあった場合、汚染の原因となる場合があります。この場合は適切な養生を行うなどして、直接雨があたらず様処置を講じてください。
- ⑥雨が直接かからない面や笠木などの水切りが施されていない部位など、建物の形状により低汚染性が十分に発揮できない場合があります。
- ⑦高温 (40℃以上) 及び低温 (-5℃以下) での保存は避けてください。また硬化剤は低温環境下で長期貯蔵すると白濁することがありますが、容器を湯に浸し、液温を20℃以上にすることにより均一透明に戻ります。
- ⑧軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窓サディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。

- ⑨ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りや仕上げ肌の違いによる色相差が生じることがあります。
- ⑩汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の替えは必ずとって置き、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑪塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- ⑫本品の硬化剤は危険物 (第4類第2石油類) となります。
- ⑬施工時の気温条件により、ベース/硬化剤混合後の可使用時間 (塗料の状態) に差が生じますが、本来の低汚染機能が発現させるために実用上の可使用時間を遵守してください。(特に高温時は留意してください)

### ●気温と実用上の可使用時間 (希釈率5~10%時) の目安

条件	気温	実用上の可使用時間	混合24時間後の塗料状態
高温時	30℃以上	混合後3時間以内	ゲル状
常温時	15℃~30℃	混合後5時間以内	ゲル状~増粘
低温時	5℃~15℃	混合後7時間以内	やや増粘~変化無し

※5℃以下では、あらかじめ塗装を避けてください。

## ■ご使用上の注意事項

■下記の注意事項を守ってください。 ■詳細な内容については化学物質等安全データシート (MSDS) をご参照ください。

### ■予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具 (帽子・保護メガネ・マスク・手袋等) を着用し、身体に付着しないようにすること。
  - 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
  - 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
  - 本来の目的以外に使用しないこと。
  - 指定材料以外のものとは混合 (多液品の混合・希釈等) しないこと。
  - 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
  - 取り扱後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
  - 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
  - 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対 応
- 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
  - 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
  - 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
  - 漏出時や飛散した場合は、砂、布類 (ウエス) 等で吸い取り、拭き取ること。
  - 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
  - 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
  - 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 棄
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

## 関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ  
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03)5711-8904 FAX (03)5711-8934  
 北海道販売部 TEL (0133)64-2424 FAX (0133)64-5757  
 東北販売部 TEL (022)287-2721 FAX (022)288-7073  
 北関東販売部 TEL (028)637-8200 FAX (028)637-8223  
 東京販売部 TEL (03)5711-8905 FAX (03)5711-8935  
 中部販売部 TEL (052)262-0921 FAX (052)262-0981  
 大阪販売部 TEL (06)6203-5701 FAX (06)6203-5603  
 中国販売部 TEL (082)262-7101 FAX (082)264-3285  
 四国販売部 TEL (0877)24-5484 FAX (0877)24-4950  
 九州販売部 TEL (092)411-9901 FAX (092)441-3339



ご用命は